

大山登山ルート研究

《大山に魅せられて》

佐藤 清

神奈川県厚木に住んでいると大山って毎日見る山ですね。大山は南北にすそ野を長く引いた綺麗な形をしています。特に大山に太陽が沈み赤く染まったそのシルエットは、素晴らしく見惚れてしまいます。南は小田急線鶴巻温泉駅まで、北は宮ヶ瀬湖まですそ野を引いています。東は広沢寺温泉まで通じて、西はヤビツ峠から三ノ塔へ続き、塔ノ岳へと丹沢山塊の一翼を成しています。丹沢山塊は神奈川県の1/6の面積を占めて東西に40km、南北に20kmに及んで西側では静岡県と山梨県に接しています。

大山の頂上ですが、大きく分けて3つの大きなスペースに分かれています。

一つ目は、奥の院があり広いスペースの中にテーブルや頂上を示す1,252mの標識があり、南側が開けていて伊豆半島や大島等々が見えます。

二つ目は、東側のスペースで晴れた日で空気が澄んでいるときには、横浜や東京のビル群から房総半島のシルエットまで見るができます。ここには立派なトイレがありテーブルやベンチもあります。

三つ目は、北側のスペースで富士山や丹沢の山々が見えます。上の二つのスペースよりも若干登山者が少なく静かです。ここにはテーブルやベンチがありません。



厳冬の大山山頂奥の院。積雪30~50cmを越えることも珍しくない

大山は、TTCのホームグラウンドであると共に夏のビック山行のトレーニング場所としても適

しており、個人山行で登ると登山道や山頂でメンバーにお会いすることもあります。

大山登山ルート研究を作成するにあたっては、単独でも登りましたが、TTCの山行実施記録や未登山ルートも含め何回もお付き合いいただいたS.Tさんに感謝申し上げます。



1年中参拝客とハイカで賑わう大山阿夫利神社下社

TTC 発足15周年にあたり、こんなに近くにあり大好きな、大山の頂上までの登りのコースを紹介します。危険な道も少なく紹介したコースを登りや下りにと組合せるとバラエティな大山山行ができます。大山で一番体力を必要とするコースは、土山峠バス停～辺室山～物見峠～一ノ沢峠～北尾根～大山～南尾根～鶴巻温泉駅で、南北を全て歩くことになります。



11月下旬全山紅葉に染まる。とくに阿夫利神社下社と大山寺境内の紅葉は見事で、夜はライトアップされる
なお、無雪時の大山ケーブル駅バス停～女坂～下社～表参道～山頂のコースを体力レベル★☆☆で表して、他のコースと比較しています。暑くて体力を消耗する6月～9月の山行の時はプラス

☆してください。各コースタイムは休憩時間を入れていませんので、登るときにはその分プラスしてください。



大山頂上からは相模湾に浮かぶ江ノ島をはじめ、三浦半島や房総半島も一望の下に見渡せる

下りは、概ね登りの7～8割の時間で歩くことができます。5月中旬から10月中旬までの間に大山に登ると山ビルに出会うことがあります。各コースで山ビルに出会う確率を顔文字3段階で表しました。ヒル度は(^_^)はほぼ大丈夫、(-_-;)は少ないが、(+_)必ずいるので対策が必要です。

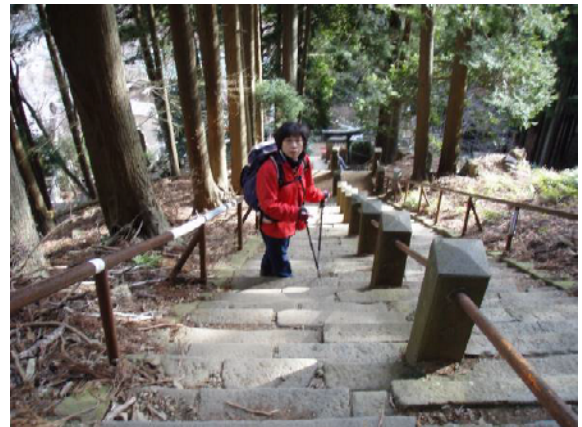
① 表参道コース（コースタイム：2時15分、
★☆、ヒル度(^_^)）
大山ケーブル駅バス停～大山ケーブル駅～女坂（男坂）～下社～表参道～山頂

このコースは、大山登山で最もポピュラーで、晴れた土・日・祝祭日には多くの登山者で賑い『こんにちは』との声掛けも連発しなければならず大変だ。



表参道男坂コース。大山ケーブル駅脇の追分社から大山詣でが盛んだ江戸時代からの急な石段の参道を登る
伊勢原駅から大山行きのバスに乗り終点で降りる。大山ケーブル駅バス停から大山への登り口

は、バス停を降りればすぐに分かる。大山駒のタイルが貼りつけてある道を登って行く。両側にはとうふ料理屋や土産店が軒を並べている。約380段の石段を登り、右に行くと大山ケーブル駅に到着する。そこを真直ぐに行くと男坂と女坂の分岐がある。男坂は急な石の階段ばかりで、これといっって見るものがないし眺望もなく単調だ。女坂は途中に大山寺があり、中々いい感じだ。女坂は川の音を聴きながら、石段を登って行く。ケーブル駅から20分も歩くと大山寺とケーブル大山寺駅分岐に着く。真直ぐ行けばケーブルの大山寺駅に行けるし、お寺の境内を通らずに下社に行くこともできる。お寺の境内に行くには分岐を左折し急な石段を登る。お寺を正面にして右に行き回り込むようにすれば登山道にでて、真直ぐの急な坂に行かず右の方に下る方が登山道で、ケーブル大山寺駅からの道と合流する。ここから急な石段を登り20分ぐらい歩くと標高700mの大山阿夫利神社下社に着く。



表参道コース。下社からいきなり急な石段の登りが続く

下社の正面を回り込むように左に行き、右を見ると急な石段があるので、そこを登って行く。この表参道には〇〇丁目と彫られた石柱があり、下社が1丁目、頂上が28丁目だ。16丁目はベンチがある広場で蓑毛越からの道（南尾根）と合流する。20丁目は晴れた日には富士山が見える富士見台だ。25丁目ではヤビツ峠（イタツミ尾根）からの道と合流する。ここまでくればもう一息で山頂だ。27丁目で鳥居をくぐり幅の狭い石段を登り売店を過ぎれば標高1,252mの頂上だ。下社から頂上まで休憩を除くと1時間20分ぐらいで歩けるだろう。



早春の表尾根コース。明るく開けた登山道は歩きやすい

【このコースの別ルート】

1. 大山ケーブル駅バス停～大山ケーブル駅～女坂（男坂）～下社～見晴台～山頂
2. 大山ケーブル駅バス停～大山ケーブル駅～女坂（男坂）～下社～南尾根～16 丁目～山頂



表参道コース 20 丁目富士見台から望む富士山

② 大山南尾根コース（コースタイム：5 時 10 分、★★☆、ヒル度（-_-;））

鶴巻温泉駅～吾妻山～善波峠～念仏山～高取山～浅間山～蓑毛越～山頂

または秦野駅～弘法山～権現山～善波峠～

で善波峠を鶴巻温泉駅方面に 5 分程下った所で合流するが、どちらかというとも鶴巻温泉からの登山者が多いようだ。

大山山頂から南に延びる尾根で正式な呼称は分からないが、南尾根と呼ぶ。このコースは距離もアップダウンもあり時間もかかるが、大山でもこんなに体力を使うのだと実感させられる。

鶴巻温泉駅から日帰り温泉施設『弘法の里湯』の前を通って、東名高速道路のガードをくぐって行けば、弘法山のハイキングコース入口に着く。ひと登りで吾妻山に到着する。善波峠までは軽い

アップダウンのある散歩道だ。

善波峠から北へ向かい善波隧道の上を歩く。両側の視界が利かないが下には国道 246 号線が走っている。緩やかな山道を登っていくとしばらくして、念仏山に着く。少し下って快適なハイキングコースを行くと斜度が急になり、上り詰めると標高 705m の高取山に着く。山頂から左に行けば東京カントリー倶楽部を通って東中学校前バス停に出ることができる。大山に行くには北を目指すが、最初は少し急な下り坂で、直ぐに緩やかな下りになり、少し行くと舗装路が現れて林になる。

舗装路を過ぎたあと、少し斜度のきつい道を進むと平坦な道になり、ほどなく、NTT の鉄塔が現れる。しばらく行くと浅間山を経て、蓑毛越に着く。ここは蓑毛と下社を結ぶコースと尾根道がクロスする峠で、平らなスペースにテーブルと椅子がある。ここにもヤマビルが少しいる。蓑毛越を越えると、いよいよ山頂への登りとなるが、最初は少しならかな登りの道が続き、再び右から来る下社からの道と合流するとあとはひたすら登りとなる。



南尾根コース。4 月上旬権現山から弘法山は全山桜花でピンク色に染まる。秦野市随一のサクラの名所だ

大きな石の間を通り横木の階段になっている登山道を登り切ると表参道からの道と合流する 16 丁目にでる。蓑毛越から 45 分ぐらいの 16 丁目は概ね標高 1,000m で椅子があり小広いところで休憩するにもってこいだ。一本立ててから出発し、晴れた日には綺麗に富士山が見える富士見台は 20 丁目だ。ヤビツ峠からのイタツミ尾根と合流する地点は 25 丁目で、山頂は 28 丁目だから

もうすぐだ。27丁目の鳥居をくぐり石の階段を登り売店の前を通って行くと奥の院がある 1,252m 大山の山頂だ。

③ 蓑毛～イタツミ尾根コース（コースタイム：
2時30分、★☆ヒル度(-_-:))
蓑毛バス停～ヤビツ峠～25丁目～山頂

イタツミ尾根は、ヤビツ峠から表参道の道と合流する 25 丁目までを言うが、ヤビツ峠から大山では歩き足りないので今回は蓑毛のバス停から歩いてみる。



冬の大山は手軽にスノーハイキングが楽しめる

小田急秦野駅から蓑毛行きの神奈川中央交通のバスに乗り、終点の蓑毛で降りる。蓑毛バス停には売店や公衆トイレもあり便利だ。春岳沢沿いにアスファルトの道を歩き沢にかかる橋を渡ると登山道らしくなる。それほど急な登りでもなく、道もしっかりとしているので、迷うようなことはないが夏場はヤビツ峠までの間にヒルが出る。橋から45分ほど登ると、車道の白いガードレールが正面に見える。更に行くと、道が二手に分かれ右に行けば今は廃屋になっているヤビツ山荘への道からイタツミ尾根だが、左に行き標高760mのヤビツ峠へ出る。ここはバス停脇にトイレや駐車場もある。駐車場にマイカを置き、塔ノ岳に行く登山者もいる。一本立ててバス停の標識の近くにある階段を登りイタツミ尾根に入るとヤビツ山荘の前を通る。ここから階段が続ききつくなって、石畳の道を少し登るとテーブルやベンチが置かれている広場に着く。広場から横木の階段を登り、樹林帯を行くと熊笹のある道を歩く。ゆっくりと山

道を登っていくが、道はしっかりとしていて迷うことない。横木の階段や急な登りも、大したことのない鎖や小岩場もあるが、初心者でも問題はない。広場から30分ほど登っていくと、ベンチがある場所に着く。そこから、横木の階段を登っていくと、左側が開けて景色を見渡せる所に出る。そこを少し行くと、下社からの表参道と合流すると25丁目だ。大山へ200mの道標も立っていて、山頂までもう一息だ。少し急な道を上がって行くと分岐から15分ほど行くと28丁目の頂上に到着する。

④ 北尾根-Aコース（コースタイム：4時00分、★★、(-_-:))
ヤビツ峠～地獄沢橋～一ノ沢峠分岐～北尾根～ミズヒの頭～西沢ノ頭～山頂

このコースは静かな山歩きをしたい方向向いているが、ヤビツ峠から登山口までの林道歩きが長いには閉口する。

小田急秦野駅からヤビツ峠行きの神奈川中央交通のバスに乗り、終点のヤビツ峠で降りる。そこから丹沢ホーム、宮ヶ瀬湖方面に繋がる舗装された道を地獄沢橋まで歩く。財力にゆとりがある方は秦野駅からタクシーで地獄沢橋まで行く。

ヤビツ峠からアスファルトの長い林道歩きになり、ゆるやかに標高を下げていく。塔ノ岳表尾根への登山口へ通じる富士見橋を過ぎ、護摩屋敷の水の前を通り、林道が大きくUターンするところは入口を見過ごし易いがショートカットできる。札掛が近くなると、地獄沢にかかる地獄沢橋に着く。ヤビツ峠から約1時間の林道歩きだ。あまり目立たないが、橋を渡った林道の右側に手作りの道標があり、そこが大山北尾根への登山口だ。

登り始めると直ぐに道が分かりづらくなるが、沢に近いところを歩く。やがて急登になりピークの前へ回り込むような形で尾根に出る。やがて、プラスチックの階段がでてきて、尾根の傾斜が落ちてくると、一ノ沢峠への分岐点に出る。登って来た方向は、県道として表示されている手作りの道標がある。左に行くと一ノ沢峠方面だが、道標は破損していて一ノ沢が読み取れず、峠と書かれている。ここを右に曲がり北尾根に取り付く。分岐点から少し歩くと16号鉄塔がある。西側を向

くと三ノ塔から塔ノ岳が良く見える。ここからミズヒノ頭までが中々きつい登りだ。1,050mのミズヒノ頭からは塔ノ岳の左に富士山が少し見える。ここから少し下って登り返すと1,094mの西沢ノ頭だ。西沢ノ頭から急な下りになり痩せ尾根もあらわれるが、20分ほどで資材、人員運搬のためのモノレールに着く。少しの間、モノレール沿いに歩き、モノレールと登山道が離れて行くともうすぐ頂上だ。防護柵を跨ぐように設置されている脚立を越えると登山者で賑やかな山頂に着く。

⑤ **北尾根-Bコース** (コースタイム: 6時45分、★★★、ヒル度(-_-))
土山峠～辺室山～物見峠～林道～一ノ沢峠～ミズヒの頭～西沢ノ頭～山頂



北尾根コース。とくに紅葉に染まる晩秋の頃、登山者にほとんど出会うことのない静かな山歩きが楽しめる

このコースは距離が長く体力を使うし、物見峠を下り切ったところから一ノ沢峠取付きまでアスファルトの林道を歩かなければならない。物見峠から沢沿いに一ノ沢峠取付きまで行くことができる山道もあるが荒廃して一般的でないし、ヒルの巣窟だ。

小田急本厚木駅から宮ヶ瀬行き神奈川中央交通のバスに乗り、土山峠で降りる。バス停から10mぐらい戻ると登山口がある。そこから車道西側の急な傾斜の階段を登って行く。5分ほどで尾根道に出て、緩やかな傾斜の道を少し行くと急登になり小さなピークにでる。少し下ってから急な登りになる。鹿柵沿いに10分程いくと緩やかな登りになり、辺室山の3等三角点が見える。山頂はここではなく、更に先へいくと少し広い円錐状のところが高標644mの頂上だ。辺室山は道標がしっかりしていて迷うことはない。ここから物見峠にい

くが、南北の尾根道を下りコルになると登り返して、小さなピークに着く。少し行った西に向かう尾根の入り口にはロープが張ってあり、『この先、行き止まり』の看板が下がっている。物見峠には、南に延びた階段の道を下りる。そこから、少し行くと物見峠の十字路に着く。真直ぐに行くと三峰山へ、左に向かうと煤ヶ谷バス停へ、右に行くと以前は黒岩に行くことができる山道であったが今は廃道になっている。一ノ沢峠へ行くには、三峰方面に横木の階段を15mぐらい登り右に入る道があるので、そこに行く。急な階段を下りきるとアスファルトの林道に出る。左に行くとずい道を通って上煤ヶ谷のバス停に行くことができる。右に行くと、この林道歩きは長くて一ノ沢峠の取付きまで1時間20分ぐらいかかる。道標があるので判ると思うが、小さな沢沿いのコンクリートの階段が一ノ沢峠への取付きだ。札掛方面への階段を登り少し急な道を20分ほど行くとベンチがある一ノ沢峠に着く。西は札掛方面だが、大山へは南に向けて歩く。ここから地獄沢橋分岐までは道標がないもののテープが所々に巻いてあり、尾根通しの道なので迷うことはない。ここから最初の小ピークを越えると急登になり、またピークが現れる。木の根が張った痩せ尾根を上り詰めると913mで地獄沢橋分岐からの道と合流する。

～～～④北尾根-Aコースを参照～～～

⑥ **北尾根-Cコース** (コースタイム: 4時05分、★★☆、ヒル度(+_+))
広沢寺温泉バス停～林道～山神トンネル～不動尻キャンプ場跡地～唐沢峠～石尊沢(通称ネクタイ尾根)～北尾根分岐～山頂

このコースは、広沢寺温泉から唐沢峠までは一般道で、そこから北尾根分岐までは昭文社の山と高原地図には道のないネクタイ尾根になり、頂上までは静かな山道を歩くことができる。

～～～⑧不動尻～唐沢峠コースを参照～～～

唐沢峠にある東屋の裏から石尊川に下る道がある。歩きやすいジグザグの道が付いているので、間違えることはないと思う。河原に降りたところの枝に『唐沢峠に至る』と書かれたプラスチックプレートが下がっている。小さなプレートだが登山

道沿いで赤のテプラに黒文字で書かれているので見落とすことはない。石尊川を対岸に渡り目線を上げると鹿柵が見える。鹿柵沿いに行きたいので登れるところを探すと、ガラス瓶の割れた破片がかなり落ちているところから登ることができる。鹿柵に沿って左に行き暫く歩くと20～30段ぐらいの横木の階段が現れる。ここを登り切ると尾根道になる。後は尾根に沿って行くだけだが、かなりの急登が北尾根まで続く。登山道らしき道は現れることがあるがハッキリしない。尾根を外さないように歩けば間違えはしない。休憩を入れないで唐沢峠の東屋から北尾根の分岐まで1時間20分かかった。折角来たのだからとネクタイを探しながら歩いていたが、一本のネクタイも見つけることはできなかった。



北尾根コース。長大な尾根の彼方に大山頂上を望む

北尾根に合流したところは、作業用のモノレールが分岐している所で、そこを左折して尾根沿いに頂上に向かう。右を見ると三ノ塔、塔ノ岳から丹沢山までの素晴らしい景色を眺めることができる。登山道は少しモノレールの横を歩くが、離れだすと頂上が近い。柵にかかった脚立を乗り越えると頂上の一角に降り立つことができる。

【このコースの別ルート】

1. 広沢寺温泉バス停～鐘ヶ嶽～山神トンネル～不動尻キャンプ場跡地～唐沢峠～石尊沢(ネクタイ尾根)～北尾根分岐～山頂
2. 広沢寺温泉バス停～鐘ヶ嶽～大沢分岐～梅ノ木尾根～唐沢峠～石尊沢(ネクタイ尾根)～北尾根分岐～山頂
3. 日向薬師バス停～日向薬師～梅ノ木尾根～唐沢峠～石尊沢(ネクタイ尾根)～北尾

根～山頂



大山頂上北側からは塔の岳(左)から丹沢山(右)にかけての丹沢主稜線や富士山が一望できる

⑦ 三峰山～唐沢峠コース (コースタイム：5時00分、★★☆、ヒル度(+,+))

煤ヶ谷バス停～三峰山入口～物見峠分岐～大山三峰山～唐沢峠～山頂

低い山だけど頂上付近は変化に富んだ大山三峰と大山の山頂を踏む一度の山行で2回喜べるコースだ。ただし、三峰山から唐沢峠まで歩く場合は道迷いの心配があるので、初心者の方は単独行を避けて経験者と行きたい。5月中旬～10月中旬までの5ヶ月ぐらいは煤ヶ谷からの山行はヤマビルが出るので控えるか『ヒル下りのジョニー』か『ヤマビルファイター』を持っていきたい。

小田急本厚木駅から宮ヶ瀬湖または煤ヶ谷行きの神奈川中央交通のバスに乗り煤ヶ谷で降りる。バス停から川沿いに歩き、少し行くと物見峠方面への道標があり右斜めの道に入る。

正住禅寺(しょうじゅうぜんじ)前にある登山届を入れるボックスの前を通る。ここにも道標があり、気を付けて歩けば登山口を間違えることがないだろう。これで、三峰山に行く道に取りついた。ここからがヤマビルのたくさん出るところだ。

しばらく歩くと、急なジグザグの道にかわり、息を切らしながら登っていく。1時間ぐらいで物見峠分岐に着く。ここには、ベンチがあるので一休みできる。この分岐には『三峰山は地形が急峻で、歩道は狭く沢沿いやくさり場など多く経験者向きの登山道です。無理をしないで引き返す勇気が必要です。』と書かれた木の看板が立っている。書いてある程には大したことはないが、低い山の割には変化があつて楽しい山だ。

分岐を真直ぐ行くと物見峠に行くことができる。ここは左上に行き、20分も登ると物見峠からの道と合流する山ノ神に着く。そこからは、比較的平坦な尾根歩きとなる。そして、熊笹に覆われた箇所や片側が崩落している狭い尾根などを通していく。しばらくすると、急な登りになり、最初のピークが北峰だ。この北峰からはガレ場が続く、ハシゴやクサリ場が連続して楽しい。中峰を乗り越え、南峰の最後の登りにかかる。峰間の距離は短いのであつげなく938mの三峰山山頂（南峰）に着く。頂上は狭く、10人ほどの登山者でいっぱいになる。山が低く周囲を木が囲んでいて眺望はない。

山頂から不動尻方面に下ると、梯子や鎖もあるが大したことはない。少し下っていくとテーブルがあるところに着く。真直ぐ行くと不動尻でここを右の尾根の方（上）に5mほど登って左へ尾根沿いに行くと唐沢峠に行くことができる。テーブル付近には道標ないが尾根に取りつければ踏み跡があるし、テープも所々にある。なだらかな稜線を行けば良いが、支尾根に降りないように慎重に行きたい。急に左に折れるところで迷う可能性もあるが、ここもテープを頼りに行く。もちろん25,000分の1の地図とコンパスは必ず持参しよう。30分ぐらいで唐沢峠手前のピークに、そこから少し下れば唐沢峠の東屋だ。

東屋からは急な登りになり、少し歩くとヤセ尾根になりロープを張ってある所から左に折れば梅の木尾根だ。真直ぐに暫く行くと開けたところに出て気持のよい尾根歩きになる。急な階段が出てくるが、ここからこのコース一番の急登になる。左から雷ノ峰尾根からの登山者が見えると、直ぐに分岐になる。ここを右折して大山の肩を通り15分ぐらいで山頂に着く。

【このコースの別ルート】

1. 土山峠～辺室山～物見峠～大山三峰山～唐沢峠～山頂
 2. 土山峠～辺室山～物見峠～大山三峰山～唐沢峠～ネクタイ尾根～北尾根～山頂
- ⑧ 不動尻～唐沢峠コース（コースタイム：3時30分、★★ヒル度（-_-;））

広沢寺温泉バス停～林道～山神トンネル～不動尻キャンプ場跡地～唐沢峠～山頂

本厚木駅から広沢寺温泉行きのバスに乗り終点で降りる。または、七沢行きのバスに乗り広沢寺温泉入口で降りる。ここから不動尻キャンプ場跡地までは、アスファルトの林道を歩くことになる。



不動尻コースには痩せ尾根を通過する箇所もある。

この先すぐ右手に梅の木尾根への分岐点がある

広沢寺温泉入口のバス停から橋を渡って少し歩くとT字路がある。そばにある道標によると、正面は白山巡礼峠だ。広沢寺温泉の駐車場や川魚料理の店を過ぎると分岐があり、そこを右に行く。左に行くと大釜弁財天や日向薬師に行くことができる。山の神沢沿いの林道を緩やかに降っていくと、使われなくなった民家を過ぎ、暫く行くと車止めのゲートがある。ゲートの横を通り抜け登り切るとトンネルが見える。ここが山神隧道で明りがなく暗いトンネルだ。トンネルを出ると下りになり、下り切って橋を渡ると道標があり、右へ行くと谷太郎川沿いに煤ヶ谷に行くことができる。ここから登りになり10分程歩くと不動尻キャンプ場跡地に着く。ここには、トイレが2つある。ここから山道に入るが、直ぐに大山三峰との分岐がある。右に行くと大山三峰山に行くが、大山へは真直ぐに進む。だらだらとした小広い登山道をジグザグに登っていく。

鹿柵を越える木の橋出てくるが崩れそうなので、下を通る。2回目の鹿柵を越える橋はしっかりしている。ここを越えて少し行くと広いところのピークに出る。ここを右に行くと大山三峰に行くことができる。唐沢峠は真

直ぐに少し下ったところにある。不動尻キャンプ場跡地から1時間10分ぐらいで着く。

～～～ここからは、⑦三峰山～唐沢峠コース
参照～～～

【このコースの別ルート】

1. 広沢寺温泉バス停～鐘ヶ嶽～山の神トンネル～不動尻キャンプ場跡地～唐沢～山頂
2. 煤ヶ谷バス停～谷太郎林道～不動尻キャンプ場跡地～唐沢～山頂

⑨ 梅ノ木尾根コース-A (コースタイム: 3時50分、★★、ヒル度(-_-;)) 日向薬師バス停～日向薬師～梅ノ木尾根分岐～大沢分岐～唐沢峠コース分岐～山頂

伊勢原駅から日向薬師行きのバスに乗り終点で降りる。バス停から10mぐらい伊勢原駅寄りに戻った所を左に入れば日向薬師に行く表参道だ。階段を登り山門をくぐり10分ぐらいで日向薬師に着く。裏に回るとベンチとテーブルがあり、トイレもある。そこを日向山方面に行くとアスファルトの道を横切り山道に入っていく。緩やかな登りを行くと分岐に出る。右に行けば日向山で、そこから、七沢リハビリセンターや広沢寺温泉バス停に行くことができる。左に曲がり大山を目指す。急な階段の道を上るとベンチがある。また少し行くと2つ目のベンチがあり、そこには道標もある。そこから暫く行くと浄発願寺奥ノ院への分岐になっていて、ここにもテーブルもある。左に行くと奥ノ院で、真直ぐに急坂を登る。植林の林を抜けたピークが、二ノ沢の頭だ。少し先の左の開けた所からは今まで見えなかった大山が顔をだした。ヤセ尾根を過ぎ、アセビなど常緑樹の間を登って行くと大沢分岐に着く。小さい手作りの道標があり、右に行くと鐘ヶ嶽方面で、ここを斜め左に行く。左が植林になって、登り返した次の小広いピークはちょっと注意が必要だ。真直ぐの方が良い道で、そこを行くと日向キャンプ場に下りてしまう。県の標識(頭が赤い小さな杭)にマジックペンで大山と書いてある右に

行く。少し下ってコルになり、暫くゆるい登りを行くときつい登りがやってくる。落ち葉がいっぱいの斜面を登っていくとロープを横に張った唐沢峠からの尾根にぶつかる。右に行くと唐沢峠で、そこを左に行き大山を目指す。

～～～ここからは、⑦三峰山～唐沢峠コース
参照～～～



梅の木尾根コース。急登が多いロングコースだ

⑩ 梅ノ木尾根コース-B (コースタイム: 4時45分、★★☆、(+_+)) 広沢寺温泉入口バス停～鐘ヶ嶽～大沢分岐～梅ノ木尾根～唐沢峠コース分岐～山頂

本厚木駅から七沢行きのバスに乗り広沢寺温泉入口バス停で降りる。または、広沢寺温泉行きのバスに乗り鐘ヶ嶽で降りる。

このコースも静かな山歩き派に向いているが、5月中旬から10月中旬まではヒル対策が必要だろう。

広沢寺温泉入口バス停で降り、すぐ左に折れて河鹿ノ沢バス停を右折し突き当たると鐘ヶ嶽のバス停だ。そこを左に折れて下るような感じになる。少し行くと左に石段があるので登り鳥居をくぐり、植林の山道を登る。この登山道には、大山の下社から頂上までと同じく適当な間隔で1丁目から28丁目までの石柱が建てられている。最初は少し急登だが、直ぐにゆるい登りになる。3丁目から少し急になって、22丁目では岩ごつの少し明るい所に出る。25丁目で見ると石段が見える。350段ぐらいの石段を登りきると鐘ヶ嶽バス停から概ね1時間5分で浅間神社に着く。山頂は、神社の左を回り込みそこから3分ぐらいの所にある。山頂に石碑があり、倒れた木がベンチの

役割をしている。山頂を南の方に20分ほど下ると山神隧道との分岐に着き、左に行くと山神隧道だが、ここを真直ぐ南に向かって尾根を登っていく。手作りの道標があるので助かる。ここから尾根を直登する急な登りだ。山の神隧道分岐から20分ほどで、右手が少し開けた所に着く。鹿避け柵沿いに続く細い尾根を過ぎると登りの傾斜が増していく。山神隧道分岐から30分ほどで見晴広場Bに着く。そこから5分で見晴広場Aに着く。見晴BもAどこが見晴なのだ。木に覆われて何も見えない。見晴広場Aから15分ぐらいで、右手の森の中に少しだけ切り開かれたすりばち広場に着く。そこから7分ほど行くと東屋があり、分岐になっていて、大沢分岐に行くには正面の横木の階段を登っていく。そこから少し行くと2m程の岩場があり、トラロープがあるが、使わずに3点支持で楽勝だ。ここを乗り越えると5分ぐらいで大沢分岐になる。ここでようやく、梅ノ木尾根に着き、左に行くと日向山方面で、右に行くと大山方面だ。

～～～⑨梅ノ木尾根コース-A参照～～～

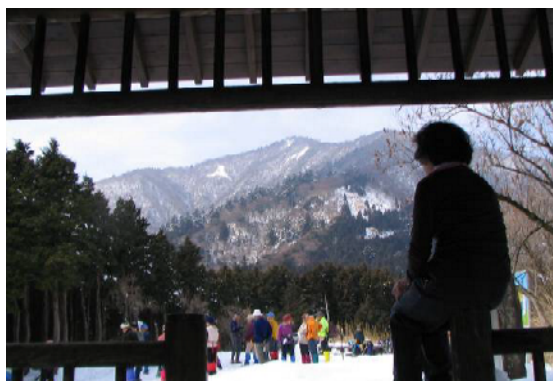
⑩ **日向薬師コース** (コースタイム: 3時10分、
★☆☆、ヒル度(-;-:))

日向薬師バス停～伊勢原市日向ふれあい学習センター～見晴台～山頂

伊勢原駅から日向薬師行きのバスに乗り終点で降りて、アスファルトの車道を日向川沿いに大山方面に向かって歩いていく。途中、三重の塔がある浄発願寺やBBQ場を通り30分ほど歩くと登山口に着く。左に折れて登山道に取りつき、ふれあい学習センターにかかる橋を渡って少し行くとアスファルトの林道を横切る。道標に従い九十九折りの道を登って行く。登山道は広く手入れもされていて良い道だ。ここを40分ぐらいだらだら登って行き、道が狭くなると赤い烏帽子を被った大きなお地蔵さんが見えてくる。お地蔵さんのすぐ手前に道標があるので、ここを右折する。少し行くと道は平坦になり、気持のよい尾根歩きになる。道が広くなると階段の上りになり、切り切ると標高770mの見晴台に着く。見晴台は、相模

原方面が開けており多くのテーブルやベンチがあり休憩するには最適だ。

ここから下社経由で大山に行くこともできる。見晴台からは少しだけ平坦な道だが直ぐに登りになる。階段や岩ごつの所もありますので、慎重に歩きたい。途中、コンクリートの大きな塊の所が標高1,000mぐらいだ。ここからひと登りで、唐沢コースとの分岐になる。ここに道標があり大山0.6kmと書いてあるが、0.6kmより長いと思える距離と最後の急登が待っている。グレーチング階段が見えたら直ぐに山頂だ。



日向薬師コース見晴台の東屋から望む大山。この付近は眺望もよく、いつも大勢のハイカが休憩している

【このコースの別ルート】

1. 日向薬師バス停～林道ゲート～見晴台～山頂

ふれあいの森学習センターから山道に入らずに林道を行き、駐車場を通り過ぎて直ぐに、Uターンするようになり、車止めのゲートをくぐり少し行くとトイレがあり、ふれあい学習センター登山口からの道と交差する。そこを右に行き登山道に入る。

2. 日向薬師バス停～ふれあいの森日向キャンプ場～つづら坂～見晴台～山頂

ふれあいの森学習センターから山道に入らずに林道を行き、駐車場を過ぎ林道がUターンする所を右に折れて急な登りを行う。平らになり橋を渡ったらバンガロ方面に行き、つづら坂と書いてある看板の前を通って、45分ぐらい登るとふれあい学習センターからの道に合流する。

【大山概念図】

赤丸内の数字は、コースの登り口です。
 ----- は、今回紹介しているコースです。

